

T: はい、えー、{T}です、よろしくおねがいします

L: あ、よろしくお願ひします

T: はい、えー {L}さんとは初めてのインタビューになるんですけど

L: はい、そうです

T: はい、えーと、初めてインタビューなので、一応ちょっと {L}さんが、えー、どうい
いきさつで、日本にいらして、どんな感じで、あの、生活してらしたかって、ちょっとお聞
きしてもいいですか？

L: あ、はい (はい) , いいですよ、えーとね、私はまあ、11年前で、あの一、研修生として
(はい) , 日本に来たおかげで (ええ) , それであの、社長の紹介で (はい) , 今の主人と
知り合つて (はい) , それで、みじか、短いな、あの、付き合い、あ、相手が (はい) , そ
れ、あの、結婚しました (はい) , はい、で、今は、まあ子ども2人と (はい) , あの一、
だか、しゅうと、姑さんと五人で生活しています (はい) , ね、と一

T: はい、えっと研修生の時にはどういお仕事でいらしたん、どうい研修でいらしたんです
か？

L: あ一、あの、縫製店 (あ一) , 縫製の**会社です

T: はい、はい (はい) , でどのくらい日本にいらしたんですか

L: 研修生は、まあ、一年ちょっとして (はい) , で、それで主人と知り合つたんです (はい、
はい) , ええ、で、まあ日本で籍を、あの一、入つて (はい) , それからあの、妊娠したの、
あの、間に、なんて、あい、妊娠したの時とわかつて、仕事ができなくて (はい) , 一旦中
国に帰つて (はい) , それ、また、あの、なんていう、改め、あの一、まず配偶者の資格を
取つて、また再入国しました (あ一) , はい

T: じゃあ研修は途中で切り上げつてい形に (そう、そうですね) なつたということ

L: 途中でやめた**<笑>

T: <笑>、はい (はい) , えーと縫製のお仕事つていのはどうい、あ、今お仕事は何をな
さつてる...

L: 今はね一、あのさっきあの、{人名1フルネーム}さんの紹介で (はい) , その、電子工場
に入つてます

T: あ一、そうなん...

L: 電子部品作つております

T: あ一そうなんですか

L: はい

T: えっと、研修でその、縫製工場にいらしたつてことは、中国でもやっぱりそういうお仕事を
なさつてたつてことですか？

L: ええ、そうですね (はい) , あと、私ほら、ちゅうご、中学校卒業してから (はい) , すぐ
親に、あの、なんていう、ほら、家庭のなんていお金の、経済の、あの、関係もあるし
(はい) , **さいし、あの一、まず高校に行けることができなかつたので (はい) , それで、
まず学校に行つて勉強しても、将来が生活できるようにだったら、今でもなんか、技術を
(はい) 身につけてもいいですつてい親に言われて (うん、うん) , それで、なんか、
学校みたいつてか、短期学校で (はい) , そのほうさい [縫製] をならて [習つて] いまし
た、

- T: んー、え、それは何年間？
- L: な、何ヶ月だけで
- T: 何ヶ月の縫製（はい、はい）、あー
- L: そうですね、まずあの、基本のことを、えーと並べて、それで、また、あの縫製の工場に入って、まず一番簡単なことからやりながら勉強してきました
- T: ふーん、一番なんか、一番簡単なことっていうのはどんなことなんですか？
- L: えーとアイロンかけね（はい）、アイロンかけやって（はい）、それ最初は生で、工場のミシンは電気ミシンですよ（はい）、まず、短期学校に入ったらまず、足踏みミシンだったので（はい）、電気ミシンに最初は慣れなかったんですよ（はい）、で、仕事の休みの間に（はい）、他の人が休む時にそのミシンを、隠れて練習しました、
- T: あー（はい）、じゃあ、その見習い、最初の簡単な仕事から（はい）、上級に行く時のこのステップっていうのは、どんなことができるようになるかと（うん）、こう、上級って言うか、あの一...
- L: で（はい）うん、そうですね、最初、まず、基本のまずじょせん類〔？〕とか（はい）、それからやって、それで、簡単なズボン〔ズボン〕、一枚のズボン〔ズボン〕を、えっと縫い...
- T: 一枚の？ズ
- L: ぬい、あの、いっぶん〔一本〕のあの、ズボン〔ズボン〕
- T: あ、ズボンを
- L: ズボンを
- T: は、はい
- L: ズボンを縫い上げることができるようになったら（はい）、それから、あの一、その一働いたの工場が、かち〔火事〕で（はい）、あの、なく、倒産したんですよ（はい）、みんな焼けてしまって（はい）、それですつぎょう〔卒業〕しましたね（はい）、でまた、親戚の紹介で、で、んー、店（はい）、縫製の店やってるの、あの、先生のところに紹介されて（あー）、そこでまた何ヶ月間で働きながら勉強しました（はい）、で、そこで働くのは、まず給料の話なくて（はい）、給料なくて、ただあの、すみ、住みこむで、と食事付きだけですね（はい）、それで何ヶ月やって、それで、その先生からまた、あの洋服の上着とか色々から、さいたん〔裁断〕から縫うまでを教えていただいて（うん）、で、であと、ちょうど、並び終わったころはお正月だったんですよ、お正月だったら家に帰って、えっと、正月、すんで、で、そのから、自分で、もう、あの店をやりました、仕上げましたね
- T: あーその先生のところでどのくらいの期間学ん...、住み込みで教えていただいたのが
- L: そうですねー、年末からかなー、だいぶ前のことだしね<笑>
- T: はい、あ、まあ（はい）、それで、じゃあもう全部縫えるように（そうそう）、スーツとか全部縫えるようになったっていうこと...
- L: そう、もうさいたん〔裁断〕から（裁断から、はい）、色々また仕上げまで〔まで〕ね（はい）、それで大体できましたので（はい）、それからあと、自分、それで姉からね、自分で独立して（はい、はい）みたら、と言われて（ええ）、じゃあやってみようかなー（はい）、で店を借りて（はい）、あと、二ヶ月間かやりました<笑>
- T: 何ヶ月なんですか<笑>？

- L: そう、何ヶ月間がやって、ちょっとあの、友達が、あの一、縫製工場に働いてるの友だちが、えーと、日本、日本に研修が来ました（んー）って、そういう、ね、話聞いて（うん）、その友達が、あ、{L名}さんだったらきっと受かると思うよ（うん）、そこに行ったらもつと、あの、儲かるんです（んー）、ってね、それを、あとやめて（はい）、そう、でも、その色々たって試験とか受けて、日本に研修に来ました
- T: えー、その試験の内容はどんな内容なんですか？
- L: で一、内容は特に、簡単ですよ、で、今あの、そのこうちょう [工場] に入って（はい）、でこうちょう [工場] の今作ってる商品を、えー、縫う、縫うか（はい）、縫うの、あの一、きれいな縫うが、正確さと早さでね（はい）、その社長たちがみな後ろで立って（はい）、見ながら、私を見て（はい）、あ、この人いいなって思って、それで多分、それ何人チェックしたみたい（はー）ですね
- T: はい、それで日本にいらした時はおいくつだったんですか？
- L: <つぶやく>（ふーん）、23歳です
- T: うん、青春の真ただ中（**）、<笑>、あ、そうですか、最初に研修でいらしたときの、えー、ここ、この {地名1} にいらしたってことですよ
- L: そうですね
- T: 印象は？
- L: あ、田舎だと覚えています
- T: <笑>
- L: 田舎っぽいんですね
- T: あ、じゃあ聞いてたのはもう少し都会のイメージだったんですか？
- L: ん、そうじゃなくて、まあさっき言ったのは、まず {都道府県名1} は {都道府県名2} 近いだから、あの寒いところって（はい）、そういう印象でした（はい、はい）、うん、まあ来たらほんとに寒かったです（<笑>、はい）、私たちが来る時は、9月ごろだったんですよ（はい）、で、10月下旬からもう雪降ってるんですね（はい）、その時は（はい）、あ、それで10月下旬から降って、三月初めまで、その雪また溶けないで（んー）、長かった、冬が長かったなと思ってました
- T: んー、でその技術研修生で日本にいらしたわけですけど、最初すごく給料安いんですよ？ 確か
- L: そうです、安いんですよ（あー）、月契約してきたんだから一、月何万円ですね、基本の給料が（はい）、月給、それか残業代をぷらして [プラスして]（はい）、まあどどん休みなしでね（はい）、それやって次は、12、3万円くらいです
- T: はい、まあ技能実習生っていう次の段階に行くと少し給料が上がるって、そういうシステムかと思うんですが（んー）、その途中でもう止められたと
- L: そうですね、実習生なって、何ヶ月くらいでね一（はい）やめました
- T: でやっぱ、日本のそのこう、こういう田舎のそういう縫製工場とかでは、日本人のそのやっぱ、働き手がない、見つからないってことで、外国からそうやって、あの、来ていただいでるわけですけど（はい、はい）、そういうのってちょっととても勝手な国のやり方、産業界のやり方かなーと思うんですけど（うん）、そういう点はどう思われますか？
- L: そうですね（うん）、それは勝手じゃないと思うよ、それは、あの、なんて、今日本で、

やってるの（はい），あの，小さな企業たちの助けだと思います（うん），で日本人，なん，あの，縫製工場では，えっと，あの，なんていう，まあ，働く人も，あの歳もなるし，で，なんて言う，速さやっぱりスピードもね，私ら若いから，スピードもいくらか，あの，早いですよね（はい，はい），うん，それ，それがとても，あの一なんていう，じゃあ私，研修生たちにとっては，稼ぎもなるんだし（はい），には，あの，日本のあの社長たちとか助けになるし（はい），それが両方が（はい），いいことだと思いますね

T: んー，ただ，あの，日本人の来ない職場を，安い労働力でみんなに来てもらうっていうのは，ほんとだったらもう少し高く払わなくちゃいけないんじゃないですか？

L: でもね（はい），最初もそう思ったけど（はい），でも実際に社長と付き合っただけで，話聞いてみたら，あの一社長が私らの，ま，給料安く払ってるだけで，他には色々経費が出てますよ

T: 例えばどんなことが

L: 例えばね，私たちが来ると，あの一，中間の会社に払うの紹介費とか（はい）経費とかあるんですね，それから寮の，寮もほら，立てて済ませてくれたし，あの，げんしせいひん [電気製品?] は無料だった（はい，はい），で，ガス水道とか（はい），それも色々（はい），生活用品まで買ってくれたし，それまあ，やす，負担で計算するが安いけど，長い目ででたらやっぱりかかりますよ

T: うん，うん，じゃあまあ，双方にとっていいシステムかという

L: そうですねー（んー），ただ社長にとっては，そんな，払ったの，実際に払ったのお金は，ただそんなに，えっと安くない，ただ，あの日本人の給料と比べたら少し安いかもしれないけどね（うん），そこの安い分は社長の稼ぎになっていると思いますね

T: はい<笑>（<笑>），うん，あと，まあ，えーと技術的には研修生っていう名にふさわしく学ぶことがあったんですか？ {L} さんたちには

L: え，どういう意味？

T: あの，えーと，げ，研修生って名で結局働き手に来てもらう，あの一労働力として入れてるわけですよね（はい，はい），でも研修生ってことは，来てくれてる人が研修できないと，自分の技術を上げる，学ぶことがあるっていうふうにならないといけないわけですけど（はい，はい），実際日本のその，縫製工場で（うん），自分の技術がすごく上がった，勉強になったっていう風に思ってますか？皆さん

L: はい，思う...（んー），結構，あの，あります（んー），で例えば，あの一なんて言う，中国では，まず学ぶに行くことはあって，教えてくれる人が，やっぱり一部とか，自分に交流して，全てが教えてくれる，ではないんですよね，教えてくれなかったんです，ことがあるんです（はい），で，ここに来たらまあ，私が働いてる**会社の社長は，自分持っているのものを，全てを，あの，こういう覚えに，なんか，働いてる人に，全てを覚えて欲しいと（んー），それで教えてくれてました（うん，うん，うん），で例えば，あの，なんでそういう，全部をなんか，教えると聞いたら，じゃああの，社員たちが全ての技術が，あの，できるだったら，それで，会社のえーと，利益も仕事もいっさい [一斉] に上がることができるから（うん），それは，なんか，両方が，あの一，あの，いいのことね（うん），利益あることだから，だからあなた，あの一，研修生たちにも（んー），いっぱい早く覚えて（うん），言葉も技術もね，でき，それで言葉も覚えれば，仕事もスムーズにできる（うん），ですよ，技術もちろん一番です

- T: うん、うん、あの一、そこは上手くいったケースみたいなんですけど、例えば魚市場、とか
であるの、研修生、魚市場分かりますか？
- L: ん？
- T: 魚を（あーそっか）捌くようなところで（うん）、やっぱ働く人がいないからって技術研修
生を入れて（うん）、そんなに教える技術がないので、安く働い、働かせる（あー）、って
言うのもあるんですけど、そういう...
- L: それは、そういう人たちはやっぱり、お金稼ぎと云うことですね、技術学ぶより
- T: いや、あの一、まあお金稼ぎもあるんですけど（うん）、あの一、雇うほうから言うと、安
く働いてくれる人、日本人が絶対来ない（あーそうですか）、んー、それで、すぐ逃げち
ゃうので、パスポートをこう（うん）預かって、逃がさないようにする（はい、はい）、と
か、そういう所もあるんですけど（うん）、そういうものを防ぐためには、どうした方がい
いでしょうかねー
- L: いやー、それは（＜笑＞）難しいですね（んー）、でもねー、あの、みんなが中国からとか
外国から来た人たちが、日本に、なんていうあの、給料が高いことを、そういう、聞き、聞
いてますね（んー）、だから今実際に来たら、あと他の日本人の給料と比べたら、いやおん
なじ仕事するのに（うん、うん）、なんで私らこんなに安給料（んー、んー）も、も、不平
があるんですよね（はい）、でも、で、だから、でも社長の立場から考えてば、**、給料が
安いだから、ま社長も稼、お金を稼ぎたいんですよね（＜笑＞）、それで安いから、だから、
あの一ちゅう、外国から入れてくれ、もらったのに（うん）、だから日本人と同じ給料払っ
たら、逆にこっちも損になってしまうんですよね（んー）、どっちも言えない**、＜笑＞
- T: ＜笑＞、はい
- L: どっちも言えないです
- T: えーと、最近ではでも（うん）、中国の方があの一、国の力がどんどん強くなって行って（そ
うですね）、向こうのほうが仕事があるようですけども（はい）、その辺はどういう風に
聞いてらっしゃいますか？
- L: そうですね（はい）、まず中国には、仕事があれば、みんな、あの一、なんていう、出稼ぎ
とか行きたくないんですよ（んー）、やっぱり出稼ぎ来る人が、あの一、地元で仕事がない
から（うん）、できないから、来てるんですよ（んー）、それぞれ自分の目的に（んー）あ
って、あの一、なんて、せい、働いて**（うん、うん）ですね、
- T: てことは日本みたいに、日本が今少しどんどん国の力が弱くなり、経済の力が弱くなり（は
い）、中国の経済力が伸びてると（うん）、日本ますます労働力が足りなくなるかもしれま
せんね
- L: そうですねー
- T: うんー、そういう時に外国から、日本に働きに来てもらうためには、こうすればいいとか、
何かアイデアがありますか？
- L: やっぱり、あの一、なんて言う、は、はいぐう、なんていう、手続きとか（はい）、あの一、
なんか、き、設定が、やっぱり少し、緩めにしたら、なんか色々規制か、こういうなんか、
例えば、だいはつ＜大学＞卒業でなければいけないかー、それで、働く経験が 10 年以上な
のか、15 年以上でなければいけないとか、そういうの規制が少し下げてくれれば、あの、
働きやすい環境を作ってもらわないと、みんな、みんながこっちに来ないんでしょうね、

T: うーん、やっぱそうやって規制を下げていくことが（そうですねー）、あ、大事だーっていうことですねー

L: 私も実際には、今、主人の、主人が（はい）、あの、小さいの会社が立てるんですけど（はい）、あの一、前から1人の従業員が使っていますので（はい、はい）、で今年になって、その従業員が病気のことで（はい）やめました（はい）、で、今主人が1人で働いてね（はい）、あの一、とっても大変です（はい）、あの一、**、今は受けてるの仕事は、1人でやるのは、とっても、ほら、親の、他のうちに追いつかれないんですよ、おうちのすすみに

T: はい？

L: こうちの（はい）、あの一、すす、すすむか、まず電気屋さん、たいく [大工] さんとか色々あるんでしょう？

T: すみません、旦那さんのお仕事が良く分からないので<笑>

L: あ、そうですね（はい）、あ、電気工事の仕事しています（あ、わかりました<笑>）、例えば家建てたり（はい）、その、線を引っ張って（はい）、ますよね（はい）、そういう1人で（あー、やる、まえに）やるためには、全体の、あの一なんていうか、進みが間に合わなくて（はい）、もう毎日8時ごろまで働いてるんですよ（あー）、で、私の考えでは、まあ、また日本で新しい従業員を雇うには（はい）、まず年金とか保険とか、色々技術がある人には、それを色々、あの一、保険を入れてやらなければならないんですけど（はい）、でも、今会社の、あの一、経験、会社のなんていうか、えっと一、まず、なんて言えばいい、その、雇うのお金がないんですよ（はい、はい）、で技術ないにしても給料安いだけじゃない人がやとれば [雇えば]、えーと、すごいなんも役に立てないよ言うことね（<笑>、はいはい）、でうちの、あの実家が、実家の弟が（はい）、まあ同じ、似てるような電気の仕事してるんだけど（あー、はい）、で、もし、こっちによんび [読んで] これるだったらいいなーと思ってね（はい）、主人の仕事の手伝いもできるしね（はい、はい）、ただ、まあ入国管理局に行って（はい）、で、あの、電話で聞いてみたら、難しいですってね、言われて（んー）、あの、まずその資格と言うか、まず人、仕事に来るには、一つは大学卒業で（はい）なければならないですね（んー）、でもう1つはあの、その、あの仕事の経験が10年以上たってなければ（んー）ならないってこと、今悩んでいます

T: なるほどー

L: 結構難しいね、もしもっと簡単にね、こっちが働く場所で保障、あれば（はい）、すぐ呼んでこれるだったら（はい）、それがいいなーと思います

T: んーおいくつですか？弟さん

L: 弟今35です

T: あーじゃあ家族として呼ぶにはちょっと無理がありーっていうことですねー

L: そうですねー

T: うん、何か上手い方法が見つかるといいですけどねー

L: そうですねー、今考えてます、<笑>

T: はい<笑>、はい、えー、ただまあそういう、じゃあ、えーじゃあ、ここで一つロールプレイお願いしたいんですけど（はい）、そういうその、今色々難しい働く場を（うん）、もっと広げていくために（はい）、どうしましょうか、あの一労働関係の（はい）、あの一専門家のところに（はい）、ちょっと、えー、何か良い提言をしてくださないと、政府に向かっ

て（あーはいはい），お願いに（あー）来てもらってもいいですか？

L: あーはい

T: 私はどうでしょうか，大学で，労働問題を専門にやってる，あの，先生です（はい），その人の所に来て（うん），そういう外国の人の難しい状況があるので，もっと働きやすいシステムを作るように，なにか，えー，政府に，提言をしてくださって（いやー），難しい？

L: 難しいね，中国語でも言えないんですね（＜笑＞），中国語でも

T: 中国語でも難しいですか？

L: **，難しいんですね

T: じゃあもっと簡単に言いましょうか，なんかこういう労働問題何とかなりませんか，っていう，その，ちょっと，えー，相談に

L: あ，相談に（はい），どういう...，例えば今私のおとと [弟] のことでいいですか？

T: はい，はい

L: **入管でね

T: はい，えーとじゃあ私，その，その労働問題の専門家のちょっと {都道府県名 1} 大学の先生にしまししょう（はい），で研究室に入ってきてください，ノックをして

L: はい，分かりま＜笑＞，**

T: はい，じゃあ

L: はい，＜ノック音＞

T: どうぞ

L: はい，どうも，あ，こんにちはー（はい），はじめまして（はい），あの，あの一，**の {Lフルネーム} とおもいします [申します]

T: はい，初めまして

L: ちょ，実は今日ちょっとあの一，分からないことあって（はい），聞きたいんですが（はい，なんでございましょう），お時間のほう（うん）よろしいんでしょうか

T: はい，まあそういうお相談があるということは（うん）ちょっと聞いてましたので（はい），20分くらいでしたら，はい

L: あの，実はねー，うちの主人が，えっと小さな電気工事の会社を，あの立てて（はい），ずっと何年間か仕事続けて，あの，来たですけれどー，今まで1人くらいの社員が使ってるんですけどー，今年に入って，その社員が，えっと病気，あの一病気のせいで仕事を辞めました（はい），で，それで，辞めたことでも，は一，いいこともあるし，悪いことも付いてくるんですよねー，で，いいこととしては，その社員の給料が，ま実は今会社の経営がものすごく厳しくてね（はい），その社員の給料もう払わなくてすむことっていいことと言いますね（はい），で，困ったことでは，ま1人，今その社員が辞めたのせいで，主人が1人で，あの，現場に向かっているのがね，すごく，すごく仕事が，なかなか進まなくて，今困ってます

T: ええ，だいたいの状況は伺ってたんですけど，私に何かできることがありますでしょうか？

L: あ，実はねー（はい），その，その，せ [せい] で，それなんて，えーと，私が，の実家の弟をちょっとあの日本に呼んで，主人の仕事を手伝わせたいんですが

T: ええ，ええ，そういうお話もきいてるんですが...

- L: えーその、あの、なんて、入管に問い合わせたら中々その入国の条件がすごく厳しくて（はい）、何か、あの、何か簡単に、まず、まず簡単じゃない、うーん、ほんとにあの、こっちにゆうこう [入国] させる方法がないんでしょうかね？
- T: そうですねー（うん）、あの中々、ま、ちょっと調べさせては見ますけど、一応今の法律上はちょっとむりそうなんです（あー）、何かわたくしができることが、あればいいんですが...
- L: そうですね
- T: はい、で、ご希望はどういうことなんですか？、はい、その、弟さんをどのようにしたいと
- L: そうですねー（はい）、やっぱり日本に来て、あの働く、できるような、資格で日本に来させたいんですね
- T: んーふんふん、そうですね、あの一、まあただ短期で訪問っていうのではやはり中々難しいってことですか？
- L: 訪問という資格では、働くことが許されないんですよ
- T: はい、そうですね
- L: うん、やっぱりこっちに来ては、まあ向こうでもその資格持ってるんですけど、やっぱり、日本のその、まず仕事の手順とか、最初から習わせなければならぬのでね、ね、やっぱり、あの長い**れば、その時間が短期で無理でしょうね（うん）、言葉の関係もあるし
- T: はい、わかりました、じゃあまあちょっともう少し何か提言ができるかどうか考えてみますので、まあ今日はこういうところで、ほんとに大したお返事はできませんでしたけど。
- L: 申し訳ない（はい）、あの一お願いします、なんとか（はい）、できればほんとに助かります
- T: はい、お疲れ様です（はい、お願いします）、ありがとうございます、失礼します、じゃあその、大学の先生に話に言ったってことを、えー、ちょっとお友達に、日本人のお友達に、話してもらっていいですか、日本人のお友達って、仲の良い方いらっしゃいます？
- L: お一人かね<笑>、います
- T: はい、どなたですか？お名前
- L: えー名前？
- T: はい
- L: <笑>、あーそうです、{人名2} さんです
- T: じゃあ {人名2} さんで（はい）、えーなんか、{都道府県名1} 大学に話に行ったんだって？
- L: うん、そうですよ、前言ったけど、やっぱりなか、中々（うん）、あの一進まないんですね
- T: 進まないんだー
- L: うん、そうだね
- T: いいアドバイスもらえなかった？
- L: え？
- T: いいアドバイスはなかったんだ
- L: うん、なんか（うん）、ただおし、仕事の流れの延長に行ってるみたいなので、考えておくって事だけ...
- T: あっ、そうなんだ、冷たいねー

L: だから何を言っても（うん），無駄足みたいだったね

T: あーそうなんだー，お疲れさん，まーご飯でも食べ行く？うん

L: あ，いいよ，一緒に行こっか

T: うん，はい，失礼いたしました，ありがとうございました，えーじゃあ
今一番，最大の悩みはその，弟さんのこと（そうですねー），っていうかまあ，旦那さんのお仕事の大変さも含めて

L: そうですね（うん），主人もほら（うん），歳もいってるんだし（んー），今年で 60 過ぎてますのでね，（あー，はい），だから...

T: 心配ですね

L: 心配ですね，子どもまだ小さいのに，うーん，あの，会社なんかやっていったら，いけたらいいなと思ってね

T: んー，なるほど，その弟さんが助けになればいいんだけど，やっぱり資格的にという

L: はい

T: んー，何かいい道が見つかることを願ってますけど，はい，今日はどのうもありがとうございました

L: ありがとうございました